

令和2年6月19日
警察本部

「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動に係る第5期アクション・プラン骨子について

1 策定の趣旨

現行の『めざそう！安全・安心・日本一』ひろしまアクション・プラン（第4期アクション・プラン）の計画期間が令和2年末で終了することから、これまでの取組の成果を土台として、県民・事業者・行政など多様な主体が協働・連携した運動を更に発展させ、引き続き、安全で安心して暮らせる「犯罪のないまちづくり」を進めていくため、新たなアクション・プランを策定する。

2 計画期間

令和3年から令和7年までの5年間

3 骨子

別添のとおり

4 新プランのポイント

(1) 新たな運動目標の設定

「住む人来る人だれもが日本一の安全安心を実感できる広島県の実現」
(推進指標)

- 刑法犯認知件数の縮減 刑法犯認知件数 12,000件／年以下
- 体感治安の向上 治安良好と感じる人の割合90%以上

(2) 安心感を高める重点的な取組の設定

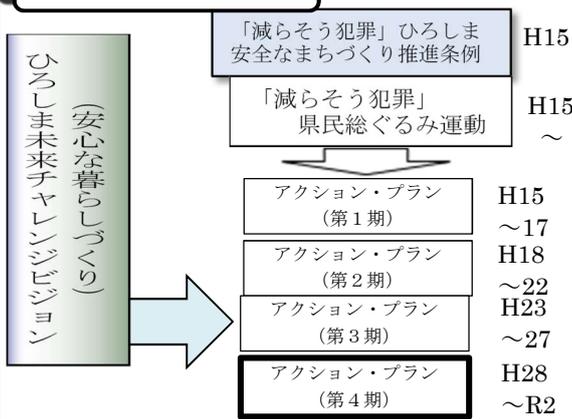
- ① 不安に感じる犯罪の抑止
- ② 子供・女性・高齢者等の安全確保
- ③ 特殊詐欺被害の抑止
- ④ インターネット利用犯罪被害の防止

5 策定スケジュール（案）

- (1) 県議会（警商委員会）等における骨子案の報告
- (2) 広島県「減らそう犯罪」推進会議構成員等への素案に対する意見調整
- (3) 県議会（警商委員会）等における素案の報告及び集中審議（8・9月）
- (4) 広島県「減らそう犯罪」推進会議構成員等への最終案に対する意見調整
- (5) 最終案に対する県民意見募集の実施及び修正（10月）
- (6) 広島県「減らそう犯罪」推進会議における最終案の承認（11月）
- (7) 県議会（警商委員会）等における策定の報告（12月）

「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動『第5期アクション・プラン』骨子 ～「減らそう犯罪」ひろしまアクション・プラン2025（仮称）～

1 これまでの取組



広島県「減らそう犯罪」推進会議

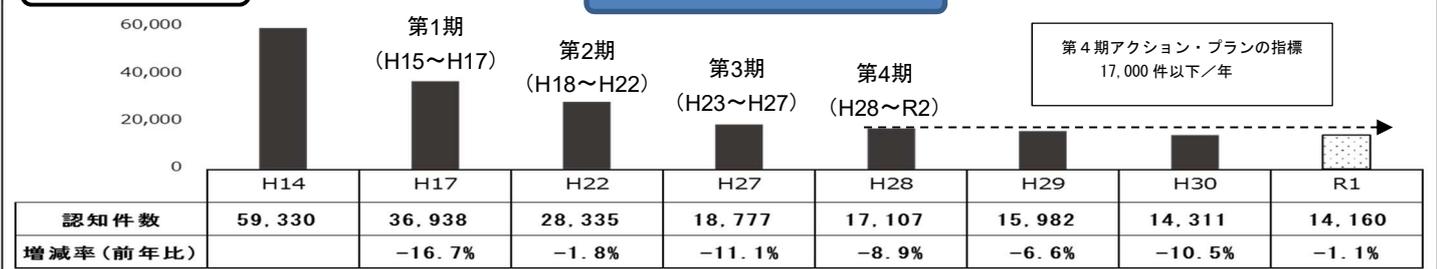
○県民, 事業者, ボランティア, 関係団体, 学校, 行政等で構成
会長～県知事
副会長～警察本部長, 県防犯連合会長, 消費者協会長

「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動の推進

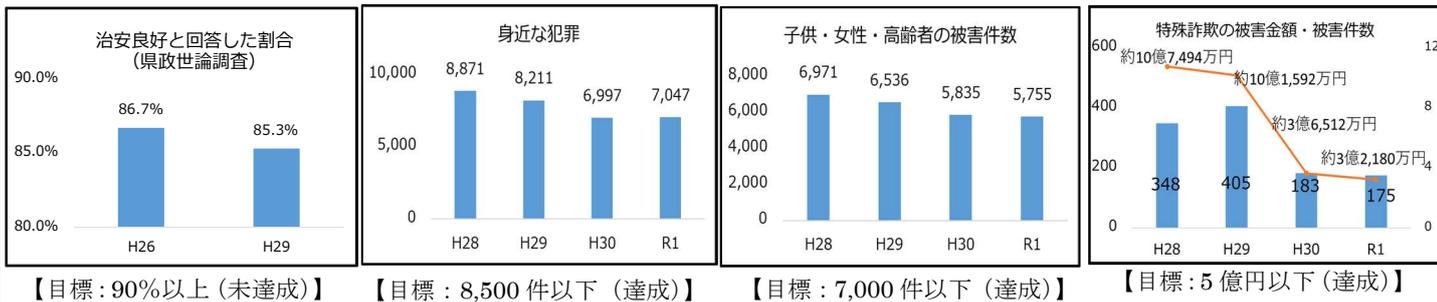
- 県民・事業者・行政・警察が協働・連携した取組の推進
- 行政・警察の関連施策の総合的推進
- 県民・団体・事業者などの主体的な取組の促進

2 取組の成果

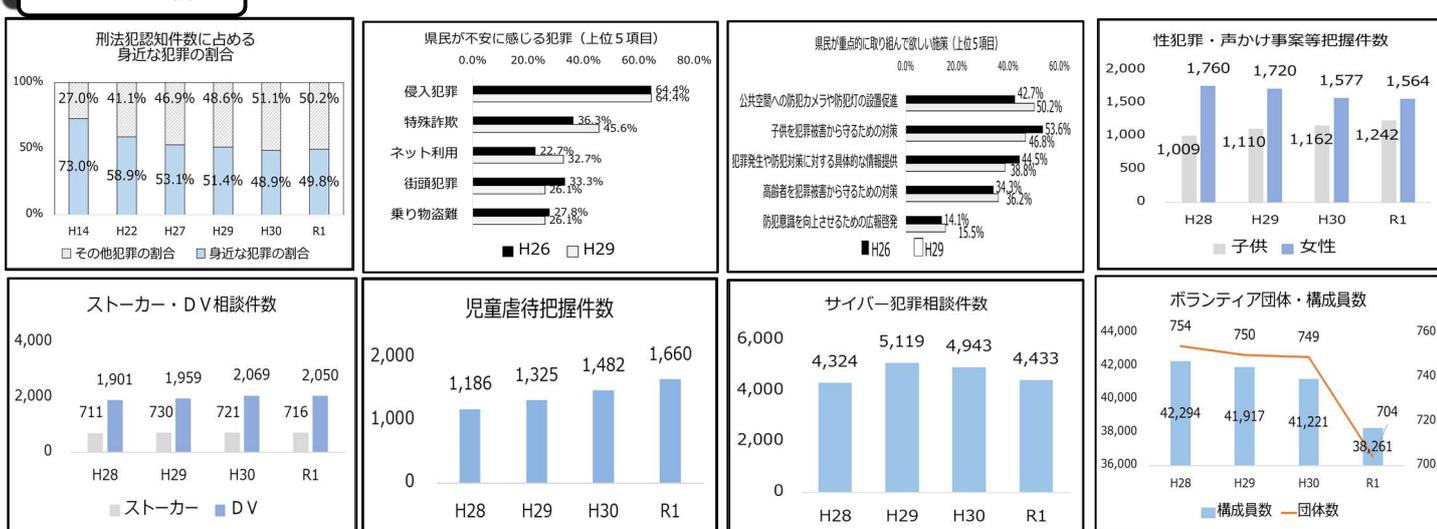
刑法犯認知件数の推移



【第4期アクション・プランにおける指標の推移】



3 現状と課題



課題

- ①刑法犯認知件数は減少しているにもかかわらず、体感治安(安心)の向上に結びついていない。
 - ②県民が不安に感じる犯罪の上位は「侵入犯罪」「特殊詐欺」「ネット利用犯罪」「街頭犯罪」「乗り物盗難」。
 - ③子供対象の性犯罪・声かけ事案, ストーカー, DV, 児童虐待, サイバー犯罪相談の把握件数は増加傾向。
 - ④地域の安全を担ってきた防犯ボランティア団体・構成員は減少傾向。
 - ⑤新型コロナウイルス感染症に関連した犯罪の発生など新たな危機事象への対応。
- ⇒県民が不安に感じる犯罪を抑止するとともに、県民ニーズに基づき県民の安心感を醸成する取組を推進。

4 第5期アクション・プランの概要

I 社会情勢の変化

人口減少・少子高齢化

家族関係の変化

地域連帯感の希薄化

規範意識の低下

デジタル化の進展

グローバル化の進展

観光客数の増加

II 運動目標と重点項目

運動目標

**住む人来る人だれもが
日本一の安全安心を実感できる広島県の実現**

計画期間 5年
(R3～7年)

推進指標

■ 刑法犯認知件数の縮減

■ 体感治安の向上

(12,000件/年以下)

(治安良好と感じる人の割合 90%以上(維持))

重点項目

● 安心感を高める重点的な取組

- ① 不安に感じる犯罪の抑止
- ③ 特殊詐欺被害の抑止

- ② 子供・女性・高齢者等の安全確保
- ④ インターネット利用犯罪被害の防止

III 取組の基本的方向

安全安心なまちづくり

意識づくり	① 犯罪情報等の発信・共有 ② 自主防犯意識の啓発 ③ 規範意識の向上	一人一人の犯罪抵抗力を育む対策 ● 防犯意識と規範意識を高め、県民の「犯罪抵抗力」の向上を図る。
地域づくり	① 子供・女性・高齢者等の安全確保 ② 持続可能な自主防犯活動の推進 ③ 事業者による防犯対策の推進 ④ 健全で魅力あるまちづくりの推進	地域ぐるみで犯罪抑止力を高める対策 ● 地域の“見守り機能”を再生・強化し、地域の「犯罪抑止力」の向上を図る。
環境づくり	① 防犯に配慮した生活空間の整備促進 ② 安全安心を支える体制と基盤の整備 ③ 多文化共生を可能とする社会基盤の整備 ④ 安全なサイバー空間の確保 ⑤ 観光客の安全確保に向けた取組の推進	犯罪予防力の高い生活環境を整える対策 ● 防犯性が高く「犯罪予防力」に優れた生活環境の創出を図る。

安全安心をもたらす警察活動

警察活動の強化	① 不安に感じる犯罪への対応 ② 子供・女性・高齢者等を守る取組 ③ 悪質重要犯罪・暴力団等組織犯罪対策の推進 ④ サイバー空間の脅威への対応 ⑤ 住民の安心感を高める警察活動	県民の期待と信頼に応える警察活動 ● 犯罪の未然防止 ● 犯罪の徹底検挙 ● 警察活動基盤の整備
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------